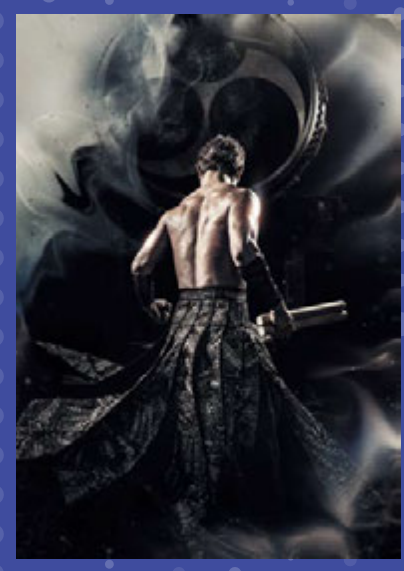
令和4年12月6日

アクロス福岡
シンフォニーホール

親子ふれあい事業
～DRUM TAO　KAIKI コンサート～

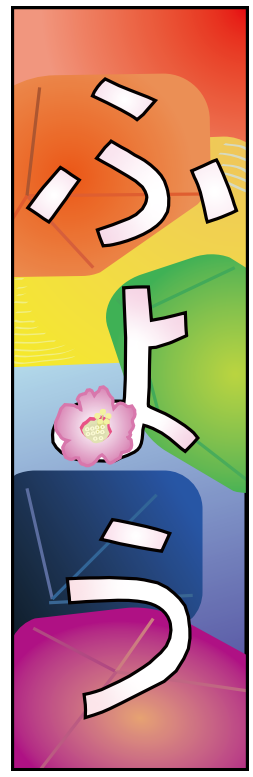


福岡市ＰＴＡ協議会では、「家庭の教育力向上」を目指し、子どもたちのさらなる健全育成と親子ふれあいを深めることを狙いとして「親子ふれあい事業」を毎年実施しています。

今年度は、世界的に有名な和太鼓演奏グループ DRUM TAO（ドラムタオ）のKAIKIコンサートに応募総数1869通の中から選ばれた親子200組をご招待しました。この「KAIKI」には「原点回帰」と「未来挑戦」への想いが込められています。

会場に入った子どもたちは、その広さときらびやかさに目を輝かせていました。そして公演が始まると奏者の鍛え上げられた肉体が放つ大迫力の和太鼓の音、息の合った演舞やさまざまな和楽器の演奏など圧倒的なパフォーマンスを目の当たりにして会場が一体となり、大いに盛り上がりました。

参加者からは「本物を見ることができて良かった」「TAOをきっかけに親子で話せた」「子どもとの楽しい思い出になった」「コロナ禍を忘れて楽しい時間を過ごすことができた」という声が聞かれ、親子で芸術に触れる有意義な時間を過ごしていただきました。



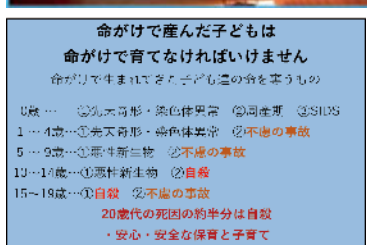
発行所
福岡市早良区百道3丁目10-1
福岡市教育センター2階
福岡市PTA協議会
発行人
会長 岡村耕二
広報委員会
福岡市PTA協議会
ホームページ
http://www.fukuokacity-pta.jp
福岡市PTA　検索
印刷 ㈱西日本新聞プロダクツ

令和4年12月1日　福岡市民会館

令和4年度　PTA啓発研修大会

「キラキラ輝く子どもたちの笑顔がずっとずっと続くために」

助産師・思春期保健相談士　内田　美智子 氏



子育ての目標はなんですか…

『あなたのことが何を差し置いても大事』だと伝えられていますか？「お母さん」の笑顔がない家庭に子どもの笑顔はありません。大人の皆さんが笑えていますか？

すべてはそこ(^_^)から始まります!!　研修会では、たくさんの問いかけと、その答えへの導きがありました。また助産師である先生のお話をスライドを交えながら伺い、心が浄化された時間ともなりました。

「生」は奇跡の連続であること。そして大人の責任がいかに大きいものか、改めて気付かされた研修会でした。また、いかに**『食育』**が大切であるかも教えてくださいました。

大学新入生調査～不安なことランキング！～

1位：自炊　　2位：掃除・洗濯
3位：虫（女子）　4位：朝起きられるか

やっていない、見たことがないことはできない!!自立を促しましょう!!最後は同じスライドを見た中高生の感想も紹介され、より前向きな気持ちで会場を後にしました。育児がつらくなった時は**『子どもの寝顔**を見ると良いですよ』とのアドバイスも。そして子育てはいつか必ず報われる日が来ると話されていました。素晴らしい研修会をありがとうございました。

令和4年11月21日　福岡市民会館

令和4年度　特別支援教育啓発研修会

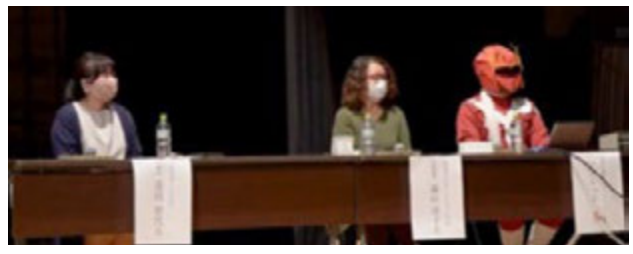
「みんなで心豊かに暮らすこと
～医療的ケア児と障がい児のきょうだい達について～」

認定ＮＰＯ法人ニコちゃんの会代表理事　森山　淳子 氏
ＮＰＯ法人しぶたね理事長　清田　悠代 氏
しぶたねプログラムディレクター　シブレッド 氏

ニコちゃんの会では、集う人の医療的ケアの有無に関わらず共に活動を行い、知り得た経験を社会に発信して、暮らしやすい社会へ変わっていくための行政への提案などを行っています。

しぶたねは、重い病気のある子どもの「きょうだい」のための団体です。

困惑、恥ずかしさ、不安、恐怖、罪悪感、自己肯定感の低下、寂しさ、家族への心配など「きょうだい」の持つ感情は様々ですが、「何色のどんな気持ちを持ってもいいんだよ！あなたはあなたのままでOK!」というメッセージを送り続ける様々な活動を行っています。「相手をまず受け止めて共感してから話を進めていく」という姿勢は講演会にいる全ての人へも向けられ、温かい空気が会場を包み込んでいたのが印象的でした。



しぶたね
http://sibtane.com
facebook.com/sibtane
@sibtane
sibtane

ニコちゃんの会
http://instagram.com/nicochanism/
http://facebook.com/nicochannokai

令和4年度 PTA活動活性化推進事業

これは、単位PTA（各学校のPTA）活動を更に活性化させるという目的に合致する事業に対し、福岡市PTA協議会が「単位PTA活動活性化推進事業」として助成するものです。今年度も各単位PTAから提案されたものから、活性化推進事業として採用され実施されています。

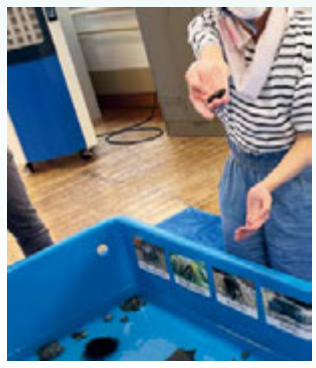
徐々に学校の行事は実施できる状況になりつつありますが、まだまだ制限の多い中での活動となります。感染防止対策を十分に行い、制限の中でもPTA・父母教師会の皆さんが中心に創意工夫をこらして実施されているように感じます。

たくさんのご応募をいただきありがとうございました。活性化事業の一部をご紹介します。

南福岡特別支援学校 PTA

令和４年９月12日・26日

『移動水族館』



実施内容

「見て・触れて・学べる」をコンセプトにした、海の生き物がやってくる移動水族館。

実施の際は人数を分散し、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら基礎疾患のある児童・生徒、訪問学級の生徒も安心して来校できるようにしました。

タッチプールでは、カニ・ヤドカリ・ヒトデ・ウニ・サザエに触れ、水槽では、イソギンチャク・エビ・カニ・タコ・ナベカ・ゴンズイを間近で観察することができました。

千早小学校 PTA

令和４年11月４日

『出張サイエンスショー』

実施内容

本校体育館にて全校を半分に分け、かず先生による「出張サイエンスショー」を開催。「空気」をテーマに様々な実験を見ることができました。

化学反応で大きな泡が出たり、「種」や「紙飛行機」が空を飛んだりすると、子どもたちからも「おーっ！」と歓声が上がり、大変盛り上がりました。

なぜ化学反応で泡が出るのかなどの説明や、「種」をもとに人類がグライダーや飛行機を発明したというお話もありました。

帰宅後、家にあるもので実験をしたお子さんも多くいたようです。

田島小学校 PTA

令和４年11月12日

『子ども委員とPTAによるゲーム大会』

実施内容

５、6年生から公募で決定した子どもバザー実行委員20名と、PTAバザー委員８名、役員が、企画・準備・運営を行いました。９月中旬から子ども委員とPTAが合同活動を３回実施し、ペットボトルや空き缶、新聞、ビニールテープなど身近な道具を使用して準備を進めました。

当日は、換気と消毒を徹底し、「玉入れ」「的あて」「ペットボトルボウリング」「ディスゲッター」「空き缶積み」「カローリング」の６種類のゲームに子どもたちの歓声が響きました。ゲーム終了後には、参加賞やコンプリート賞、くじ引きでの景品を配布しました。先生方の全面協力のお陰で保護者の負担軽減につながり、会員間の交流が図れる有意義なイベントとなりました。

金武中学校 父母教師会

令和４年11月５日

『金武中　未成年の主張』

実施内容

コロナ禍で多くの活動が制限される中、大観衆の前で堂々と話ができる生徒の育成を目的に金武中学校版「未成年の主張」を実施しました。

全校生徒の前で複数組の生徒が仲間に対する「ありがとう」の気持ちを表現したり、部活生が大会での反省を活かした宣言をしたり、思い思いに発表をしました。

先生方も一緒になって盛り上げ、生徒とMCとの掛け合いも盛り上がりを見せました。事前に希望していた生徒以外にも、当日飛び入り参加の生徒も数名いて、大盛況でした。

アンケートにおいても「満足」と答える回答が多く見受けられ、子どもたちに受け入れられたのではないかと感じています。

IT特別委員会　IT・SNSを活用しよう

IT特別委員会は、「PTA活動におけるIT化促進の課題を検証」し、「PTA役員の負担の軽減、会員が参加しやすい環境の整備など」を提案するため令和3年度に設置されました。初年度は「はじめの一歩を軽くする」をビジョンに、各単位PTAのお役に立つ情報発信に取り組みました。PTA活動におけるIT化には引き続き様々な課題があることから、令和4年度も活動を継続することになりました。

本委員会では、新型コロナウイルス感染症対策や各委員の事情にも配慮し、会議開催にZoomを使っています（Zoom5回／ハイブリッド1回）。また、目的に応じてLINEやGoogleのサービスを活用しています。直接顔を合わせる機会が少ないのは残念ですが、ITツールを取り入れることで効率的な活動ができています。

このような活動を通じて、今年度も各単位PTAでのIT導入事例を収集し、お役に立つ情報を発信することになりました。今回は収集した事例から5例を紹介します。「はじめの一歩」あるいは「次の一歩」へ、各単位PTAの課題解決に役立てていただけると幸いです。

事例紹介1　バザーの運営改善

バザーのチケット販売でオンライン決済を導入

弥永西小学校では、2022年に開催したバザーのチケット販売で、オンライン決済を導入しました。利用したのは「BASE（ベイス）」というサービスです。初めての取り組みということで、オンライン決済と今まで通りの現金購入を併用し、オンラインで184件の注文をいただきました。大きなトラブルもなく、抵抗感なく利用していただけたようです。

オンライン決済を使うことで、「現金取扱いのストレス」や「金額間違い」、「チケット仕分け」といった負担や人的ミスを軽減するとともに、「リアルタイムの売り上げ把握による販売調整」や「サービス上でのお金の管理」、「表計算ソフトデータの書き出し」など利便性も向上しました。

バザーでのオンライン決済利用（弥永西小学校）

決済画面

バザーの様子

事例紹介2　新旧役員・委員のスムーズな引き継ぎ

新旧役員・委員の引き継ぎにITツールを活用

西都小学校ではPTA会議室利用時のルールや配布物の回覧方法などのマニュアル（Googleドキュメントで作成）を格納したクラウドのURLを関係者にお知らせすることで、いつでも確認できるようにしました。さらに各委員のLINEグループのノートにも掲載し、マニュアル閲覧の利便性を高めています。

鳥飼小学校ではLINE WORKSを導入することで、マニュアルやデータ、過去の打ち合わせ経緯を確認できるようにしました。さらに、旧メンバーに可能な範囲で一定期間残っていただくことでQ＆A対応も可能にしています。

赤坂小学校ではGoogleドライブを活用し、過去のPTA役員会や運営会議の議事録や関連データを共有し確認できるようにしています。

Googleドライブを活用したデータ共有（赤坂小学校）

カテゴリ毎にデータを分類

アンケート等はまとめて整理

周年事業も引き継ぎがスムーズに

事例紹介3　新型コロナ対応

新型コロナ対応にITツールを活用

新型コロナウイルス感染対策として、密になる状況を回避するために、西都小学校ではPTA総会をオンラインで実施しました。保護者は各教室、役員や校長・教頭・関係職員はランチルームに設置した開催本部に距離をとって集合し、GoogleMeetで各教室のスクリーンに本部の進行を中継することで、分散開催を実現しました。

美和台小学校では役員同士のミーティングにLINE通話やZoomを取り入れることで、PTA会議室に集まらずに対話できるようにしました。感染リスクを低減するとともに、学校の開校時間を気にせずに打ち合わせができ利便性も高まりました。

それぞれ学校と連携しながら、コロナ禍でもPTA活動を継続できるよう工夫をしています。

定期総会のオンライン開催（西都小学校）

総会本部

各教室

事例紹介4　役員・委員募集における負担軽減・応募促進

役員・委員募集におけるIT活用例

美和台小学校では役員選考で、西都小学校では委員募集や役員選考委員追加募集でGoogleフォームを活用しました。アンケートの印刷、配付、回答回収といったさまざまな作業が不要となることに加えて、集計の手間も大幅に減らすことができました。負担軽減により、これまで負荷分散を目的に前年度から実施していた委員募集を新年度にまとめて実施することを検討するなど、活動見直しにもつながっています。

今後、紙でのアンケート回収も引き続き併用するか、案内方法をどうするか（紙のお知らせへのQRコード掲載・メール配信サービスへのリンク（URL）貼り付け）といった検討を進め、更なる負担軽減・利便性向上を目指しています。

Googleフォームを利用した委員募集（西都小学校）

西都小学校の委員募集アンケート画面

事例紹介5　児童の安全確保

子どもたちの安全マップにITツールを活用

校区内の危険箇所や登下校の見守り箇所等をお知らせする安全マップは、最新情報に保つため、情報収集やマップ更新・配付と様々な作業が必要です。この活動でもITツールを活用しています。

鳥飼小学校では、危険箇所等の情報収集にGoogleフォームによるアンケートも活用しています。また、マップ配付にメール配信システムなどを併用し、負担軽減や確実な配付につなげています。

美和台小学校では、Googleマップを活用した情報共有の準備を進めています。保護者や先生、地域の方からの連絡を元にマップへ危険箇所を登録し（画像も登録可能）、保護者が随時確認できるイメージです。これにより負担軽減とタイムリーな情報共有を実現することが期待できます。

QRコードからマップデータにリンク（鳥飼小学校）

単位PTA役員の皆様へアンケートのお願い

ここ数年新型コロナウイルス感染拡大が続くなか、それぞれ創意工夫しながらPTA活動を進めていると思います。なかでもIT導入に関しては、福岡市PTA協議会ホームページ内の「PTAチャンネル」で公開しているマニュアルや、広報紙「ふよう」139号で紹介した各校の取り組みなど、様々な事例に触れる機会も増えたことで、新たな取り組みにチャレンジしている単位PTAもあることでしょう。

そのような背景をふまえ、IT特別委員会では令和3年10月実施の「ITインフラ等のアンケート」以降の状況について把握が必要と考えています。そこで、これまでのIT特別委員会の活動に対するご意見も含め、改めてアンケートを実施したいと思います。お忙しい中恐縮ですが、ご回答いただきますよう、お願いいたします。

［回答期日：令和5年3月15日］

Googleフォームで作成するアンケートリンク用QRコード

※QRコードは株式会社デンソーウエーブの登録商標です。

福岡市ＰＴＡ協議会　小・中学生総合保障制度のお知らせ　安心してお子さまをご養育いただくために

「小・中学生総合保障制度（こども総合保険）」

お子さまの「ケガ」「育英費用」やご家族の「個人賠償責任」などを補償します。

この制度の詳しい内容はこちらからも確認いただけます。
AIG 損害保険株式会社『お子さまのための総合保障制度』https://riskfinder.jp/school/

（学校内のケガの場合、「独立行政法人　日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度」の給付とは関係なく補償されます。）

※保障制度の詳細につきましては、取扱代理店にお問い合わせください。
●制度に関するお問合せ先：取扱代理店　株式会社コーリン（福岡市ＰＴＡ協議会保障制度事務局）
ＴＥＬ：０１２０－２２８－５５３（通話料無料）（受付時間：平日午前９時～午後５時　土・日・祝日、年末年始を除く）
●制度引受保険会社：ＡＩＧ損害保険株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 損害保険ジャパン株式会社 三井住友海上火災保険株式会社　Chubb損害保険株式会社

［令和5年度版:S-230342(2024-01)］

第67回 日本PTA九州ブロック研究大会 おきなわ大会
ひろげ・つなぐ・未来へのリレー～結のこころで～

令和4年12月17日（土）　6会場　／　令和4年12月18日（日）　沖縄アリーナ

67回目となる本大会は、令和２年熊本県大会のやむを得ない中止、そして日本PTA九州ブロック研究大会として初となるオンライン開催となった北九州市大会の思いを一心に、活動が制限される中での準備期間を経て3年ぶりの「おきなわ大会」現地開催となりました。

「九州はひとつ」の合言葉のもと、子どもたちの健やかな成長を願い、豊かで活力ある心を育むための活動や役割について各分科会の会場にて討議されました。

コロナ禍以前とは様変わりした近年は、活動内容やPTAのあり方など見直すきっかけ、そして必要性を改めて考える機会となりました。各分科会では工夫や視点を変えた取り組み、懸命に向き合う各校の活動を知ることができました。

◆記念講演◆

「ガレッジセール・ゴリと考える、『子育て』とは？」　講師：ガレッジセール・ゴリ氏

お笑い芸人であり、各方面で活躍されているガレッジセール・ゴリ氏が、ご自身の幼少期からの経験などを主軸に現在の子育てについて実体験を語ってくれました。
幼少期に親と離れて暮らしていたこと。なかなか馴染めない学校生活があったこと。親に構ってほしくて、悪さをしたこと。親に迷惑をかけたことで親孝行したいと思ったこと。そのために勉強を頑張ったこと。子ども時代の葛藤と苦悩をユーモアを交えながらのお話でした。

現在はご自身も子育て中で反省や後悔もありながら、親として、子どもの力を信じて見守ることの大切さをお話になったのが印象的でした。

私たち親は自分自身の失敗や後悔をできるだけ子どもにさせないよう懸命に道を示したくなります。ですが、時には子どもの力を信じて見守る大切さを改めて考える貴重な機会となりました。

春住小学校PTA　元永会長感想

今回、第2分科会の提言校として参加しました。その中で改めて“人との繋がり”の大切さを実感しました。オンラインでは経験できない〝対話〟ができたと考えています。非常に貴重な経験をさせていただきました。

令和4年度 各種表彰受彰合同祝賀会

令和5年2月9日（木）　西鉄グランドホテル

PTA活動に貢献され、団体表彰を受賞されました小・中・特支の皆さま、個人表彰を受賞されました皆さま、誠におめでとうございます。

【団体表彰】

◆優良PTA文部科学大臣表彰
福岡市立高取小学校父母教師会
◆福岡県教育文化表彰
福岡市立松島小学校父母教師会
福岡市立西陵小学校おとなの会
◆福岡市教育委員会表彰
福岡市立横手小学校PTA
福岡市立福岡中央特別支援学校PTA
◆九州ブロックPTA協議会会長表彰
福岡市立三宅中学校PTA

【個人表彰】

◆公益社団法人日本PTA全国協議会会長表彰
佐伯　拓史（福岡市PTA協議会前会長）
松原　明子（福岡市PTA協議会前副会長）
川添　浩美（福岡市PTA協議会前副会長）
樺島　　穣（福岡市PTA協議会前事務局長）
◆九州ブロックPTA協議会会長表彰
川添　浩美（福岡市PTA協議会前副会長）
中沢　　亘（福岡市PTA協議会前副会長）
力丸 美和代（福岡市PTA協議会前副会長）
◆九州ブロックPTA協議会会長感謝状
力丸 美和代（九州ブロックPTA協議会前代議員）

佐伯 拓史さん

松原 明子さん

川添 浩美さん

中沢 亘さん

力丸 美和代さん

令和4年7/20 ～7/29　　オンデマンド配信

早寝早起き朝ごはん啓発講演会

福岡市教育委員会・福岡市PTA協議会　共催

「どう使わせるスマホ・タブレット？ ～子ども達の心身の健康を守るために～」

今回は、NPO子どもとメディア代表理事でもある、国立病院機構九州医療センター小児科医長の佐藤和夫氏にご講演いただきました。

佐藤　和夫氏のご紹介

佐藤和夫氏は、九大小児科臨床教授やNPO子どもとメディア代表理事、日本小児科医会子どもとメディア委員会の委員を務め、子どもとメディアの問題や子どもを取り巻く環境に関心をもち啓発活動など活躍されています。

子ども達の心身の健康を守るために、メディアとどうつきあえばいいのか

コロナ禍で、スクリーンタイム（テレビ・スマホ・ゲームなどの視聴時間）が急増し、屋外活動は減少しました。スクリーンタイムは、児童生徒1人1台端末の整備等のGIGA スクールによって更に増えています。

講演では、電子メディアの子どもへの影響について、医学的な立場から解説され、子ども達の心身の健康を守るためは何が必要かをお話していただきました。

【電子メディアの子どもへの悪影響】

①攻撃的行動の増加 ②運動不足・肥満・体力低下 ③学業成績の低下 ④睡眠不足や質の低下
⑤脳や眼への影響 ⑥言語・認知発達に影響を及ぼす危険性　⑦愛着形成や自制心の発達へ悪影響　など

【大事なポイント】

①日内リズム・体内時計
- 朝の光を浴びたり朝食を取ったりし、体内時計のリセットを。寝る1時間前はスマホやタブレットを使わないようにし良い睡眠を。

②眼への影響（内斜視と近視）
- 画面はできるだけ距離を離し、十分に外で遊びましょう！日陰で十分で、屋外活動は近視の予防になります。

③SNSでのトラブル
- SNSの使用には注意が必要です。お子さんと危険について話し、必要になるまで使用を控えましょう。

④親子でメディアリテラシー
- 見たい番組を視る。時間を決めて、終わったら消す「消す力」を育てる。家族で内容を話題にする。情報発信のスキル、マナーを身につける。保護者が手本を示し、親子でメディアリテラシーを身につけましょう。

「楽しい子育て全国キャンペーン」

～家庭で話そう！我が家のルール・家庭のきずな・命の大切さ～

三行詩入賞作品

令和4年5～6月に公益社団法人 日本PTA全国協議会主催で三行詩コンクールが行われました。

ご応募いただいた作品の中から今年度は福岡市より1名の方が入賞されました。おめでとうございます。

※福岡市の小・中学生および一般の方より1731作品のご応募をいただき、ありがとうございました。

日本PTA全国協議会
【小学生の部】
佳作
◆姪浜小学校1年　寺田　藍さん

きょうしつで
「ともだちになろう」って
こえかけたら
「もう　ともだちだよ」って
えがおでいわれた
にゅうがくしきのつぎのひ

PTAあるある川柳

皆様のPTAに関する川柳を左記QRコードからご応募ください。
お寄せいただいた作品の中から厳選した作品をふようにて発表させて頂きます。まだまだ募集中です。

作品例

会長の　顔も名前も　うろ覚え
プラマイプラス？　ランニング後の　大ジョッキ
給食の　ありがたみ知る　夏休み
カビたパン　ブラックボックス　ランドセル
マジ焦る　「今日空き箱　いるんやった」

※QRコードは株式会社デンソーウエーブの登録商標です。

編集後記

今回の編集は、未経験者も多くつたない部分もありますが、力を合わせて作りあげました。

何よりの収穫は、取材を通して働きながら子育てをする母親の生の声を聞けたことです。学びもありましたし、そうだよねっと分かち合えて励みになった所もありました。

取材にご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。そして読者の皆さん、どうか最後まで読んで頂き感想などお寄せ頂けたらと思います。

これからも「楽しい！ためになる！」をモットーに精進してまいります。次号は7月発行予定です。お楽しみに。

（広報委員長　坂本孔明）